

平成28年度 基本施策評価シート（部別）

基本目標	人と文化を育むまちの形成
基本方針	生涯を通じて学びあうまち
基本施策名	生涯学習の推進

	所属	職名	氏名
作成者	市民生活部 穂高地域課	課長	二村 誠一
評価者	市民生活部	部長	宮澤 万茂留

1 基本施策に対する基本姿勢

現状	施設の大規模改修工事が平成26年度に終了し施設の充実が図れた。これに伴い、利用者の利便性が増し、個々の趣味を生かして、生涯を生き生きとした生活スタイルに変えて行こうとする市民が増えている。
基本方針 (目指すべき方向性)	市民誰もが多様な学習機会を選択できるとともに、快適な学習環境が確保され、その学習成果が市民の心身の健康づくりに寄与し、家庭や地域に還元されることを目指します。 また、図書館は、市民の多様なニーズに応え、質の高い情報を提供できる「情報センター」を目指します。

2 施策指標

指標	単位	(設定時)	目標値	H26	H27	H28	達成率	進捗状況	所管課
生涯学習講座数 (回/年)	回	136	150		105	97	64.7	順調	生涯学習課
生涯学習受講者数 (人/年)	人	19,971	21,000		21,547	30,558	145.5	順調	生涯学習課
図書館の年間利用者数 (人/年)	人	391,140	440,000		379,225	414,307	94.2	順調	図書館交流課

施策指標の進捗状況と分析	
--------------	--

3 基本施策を構成する事務事業の評価

(単位：円)

No	コード	事務事業名	所管課	事業費					事務事業の状況				重点化	
				H26	H27	H28	H29	H30	合計	事業区分	新/継	終期		方向性
1	0110730	穂高公民館施設管理運営事業	地域担当 (穂高)			19,316,218	21,224,000		40,540,218	施設の管理運営	継続	期限なし	現状維持	○
2	0110735	穂高公民館事業	地域担当 (穂高)			3,888,898	4,200,000	4,200,000	12,288,898	政策的業務	継続	期限なし	現状維持・事務改善	○
合計						23,205,116	25,424,000	4,200,000	52,829,116					

事務事業量とコスト (費用対効果)の分析	市民や地区役員が主体となり、研修会や学習会、スポーツ等の公民活動を通じ、自らが企画運営を行うことにより柔軟な組織運営が行えコスト低減につながる事ができる。
重点化事務事業の考え方	積極的な情報発信により、市民が地域活動を通じ、スポーツや学習が気軽に容易に行える環境づくりが重要となる。
縮減・廃止事務事業の考え方	
総合評価 (次年度へ向けた課題の抽出含)	社会情勢の変化に伴い、年々生涯学習の形態が多様化してきている。こうしたことから、個々に対応できるきめ細やかな情報提供と支援が必要となってきている。また、地域と連携した協働による生涯学習の体制を構築できる環境づくりが重要となる。

平成28年度 基本施策評価シート (部別)

基本目標	協働によるまちづくりの推進
基本方針	協働で築かれるまち
基本施策名	協働のまちづくりの推進

	所属	職名	氏名
作成者	市民生活部 穂高地域課	課長	二村 誠一
評価者	市民生活部	部長	宮澤 万茂留

1 基本施策に対する基本姿勢

現状	市民と行政の協働によるまちづくりを推進するため、穂高地区区長会を年4回開催し、地域が抱えているそれぞれの課題、問題点を提起していただき、情報共有を図っている。さらに市専門部会では課題を掘り下げた議論を行う。
基本方針 (目指すべき方向性)	まちづくりにすべての市民が関わり、あらゆる対等な主体の明確な役割分担と相互の連携・協力による具体的な活動を活発化することにより、住みよい地域づくりを目指します。

2 施策指標

指標	単位	(設定時)	目標値	H26	H27	H28	達成率	進捗状況	所管課	
市民活動センター登録団体数	団体		38	150		57	59	38.6	停滞	地域づくり課

施策指標の進捗状況と分析	
--------------	--

3 基本施策を構成する事務事業の評価

(単位:円)

No	コード	事務事業名	所管課	事業費					事務事業の状況				重点化	
				H26	H27	H28	H29	H30	合計	事業区分	新/継	終期		方向性
1	0102090	穂高地域づくり事業	地域担当(穂高)			578,934	1,049,000	585,000	2,212,934	政策的業務	継続	期限なし	現状維持	○
		合計				578,934	1,049,000	585,000	2,212,934					

事務事業量とコスト (費用対効果)の分析	市民及び市の協働によるまちづくりを理念に、市民が率先して、自ら地域の課題解決を行うことにより、役割分担が明確となり、地域活性化が図れコストの低減につなげられる。
重点化事務事業の考え方	安曇野市自治基本条例施行に向け、市民、市議会、市それぞれの役割を明らかにした協働によるまちづくりを推進する。
縮減・廃止事務事業の考え方	
総合評価 (次年度へ向けた課題の抽出含)	少子高齢化及び核家族化により、年々、ライフスタイルも変化し地域課題も複雑かつ多様化してきていることから、益々地域のつながりが重要となってきている。こうした中で、地域の抱えている問題、課題を情報共有する事で、市と地域が一体となり問題、課題解決に向け議論を継続して行くことが重要となってきている。

平成28年度 基本施策評価シート（部別）

基本目標	経営的視点にたった行財政運営の推進
基本方針	経営的視点の行財政運営がなされるまち
基本施策名	健全な自治体経営の推進

	所属	職名	氏名
作成者	市民生活部 穂高地域課	課長	二村 誠一
評価者	市民生活部	部長	宮澤 万茂留

1 基本施策に対する基本姿勢

現状	旧穂高支所は、老朽化に加え旧耐震基準の建物であったことから、建て替え工事が終わり平成28年7月に新支所が完成した。この建て替えにより、事務の効率化が図れ、市民が安心して来庁できる庁舎となった。また、この庁舎が、いつまでも市民に愛され親しまれる庁舎であるよう、きめ細やかな管理を行い、施設の長寿用化を図って行く。
基本方針 (目指すべき方向性)	計画行政に徹するとともに、組織機構の見直しや行政改革により、予算編成・予算執行の適正化を図り、持続可能な健全財政の運営を目指します。 また、公平な課税、的確な課税客体の把握とともに、広報活動をより一層充実させることにより、収納率（収入率）を向上します。 さらに、広域的な地域づくりを進めるため、より効率的な広域連携を進めていきます。

2 施策指標

指標	単位	(設定時)	目標値	H26	H27	H28	達成率	進捗状況	所管課
税込納率（現年分）	%	98.46	98.5		99.1	99.2	100.7	予定以上	収納課
実質公債費比率（3年平均）	%	12.9	12		10.5	9.6		順調	財政課

施策指標の進捗状況と分析	
--------------	--

3 基本施策を構成する事務事業の評価

(単位：円)

No	コード	事務事業名	所管課	事業費					事務事業の状況				重点化		
				H26	H27	H28	H29	H30	合計	事業区分	新/継	終期		方向性	
1	0102085	穂高支所等施設管理運営事業	地域担当（穂高）			17,412,655	21,034,000			38,446,655	施設の管理運営	継続	期限なし	現状維持	○
2	0102095	穂高支所等整備事業	地域担当（穂高）			334,471,780				334,471,780	ハード（継続）	継続	H28	現状維持	○
合計						351,884,435	21,034,000			372,918,435					

事務事業量とコスト（費用対効果）の分析	支所建て替えにより、取り壊しと新庁舎の建設事業に経費が高んだが、安全が確保でき、建物がコンパクトになったことにより事務の効率化と維持管理費の低減が図れた。
重点化事務事業の考え方	市民が安心して来庁できる庁舎を目指し、老朽化と旧耐震基準の建物である穂高支所建物を建て替えることにより、事務の効率化が図れることから、住民サービスの向上につながる。
縮減・廃止事務事業の考え方	平成28年7月に穂高支所の建て替え工事が完了し、支所周辺の駐車場が整備できたことから支所整備事業は終了した。また、支所整備により不要となった3ヶ所の借地（職員、来庁者、公用車駐車場）の返還に向け地権者との交渉を行い、平成28年度末をもって、職員・来庁者、公用車駐車場の返却ができた。
総合評価 (次年度へ向けた課題の抽出)	老朽化と旧耐震基準の建物であった穂高支所の建物は、予定どおり平成28年7月に穂高支所の建て替え工事が終了し、平成28年8月に業務を開始することができた。また、支所周辺の整備により不要となった3ヶ所の借地（職員、来庁者、公用車駐車場）を平成28年度末をもって返却できた。今後は、きめ細やかな庁舎管理により長寿用化を図り、市民サービスの向上につなげていく。